

新聞の仕組みや情報を正確に伝えるコツを学ぶ
生徒ら＝11日、那覇市の興南中学校



新聞の仕組み学ぶ

興南中で新報出前記者

琉球新報記者による出前講座「おでかけりゅうPON」が11日、那覇市の興南中学校（我喜屋優校長）で開かれ、1年生107人が参加した。生徒らは、新聞の仕組みや文章の

に挑戦した。講師の普久原均編集局長兼NIE推進室長は「誰が読んで、正確に同じ意味で伝えることが大切だ」と情報を的確に伝える重要性を強調した。

講座では、普久原編集局長が新聞社の主張が入る「社説」と、事実のみを伝える「記事」の違いや文章を書く時の注意点を紹介。読点の位置や修飾語の順番を変えるだけで

文の意味が変わってしまうことを説明すると、生徒たちは驚いた様子でメモを取っていた。

参加した徳村佳恋さん（13）は「見出しの工夫や、社説と記事の違いなどが分かった。これからもっと新聞を大好きになろうと思う」と声を弾ませた。